

重要!!

10月はピンクリボン月間



「見つけれられることはラッキーなこと」

女性のかかりやすいがんの1位は乳がんです!!

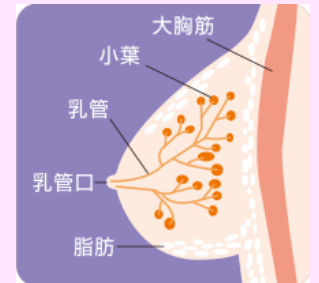
乳がんの罹患者は現在も増え続けており、現在では女性の**9人に1人が生涯で乳がんにかかる**と言われるほど、部位別で見ると女性が最も罹患する数が多い部位となっています。これは食の欧米化やライフスタイルの変化に伴い、エストロゲンという女性ホルモンが分泌される期間が長くなったことが原因とされています。

現在、乳がんを予防する方法はありませんが、一方では早期発見・早期治療を行えば90%以上の方が治療するとも言われています。

乳がんとは、乳腺(乳管、小葉)という組織に発生する悪性腫瘍のことです。症状としては、乳房のしこりやくぼみの発生、乳頭からの血液や分泌物、乳首の陥没、痛みなどさまざまです。

乳がん気付く症状 ➡ 「乳房セルフチェック」については、裏面をご覧ください。

- ◆ しこり 良性のしこり→弾力性がありコロコロ動く **乳がんのしこり→ごりっとして硬い・あまり動かない**(※自己判断は危険です)
- ◆ 乳房の痛み 月経周期に関係なく痛みが続く
- ◆ 乳頭からの分泌
- ◆ 乳頭や乳輪部のただれ
- ◆ 乳房のえくぼ
- ◆ 乳首の変化
- ◆ 皮膚の変化
- ◆ わきの下の腫れやしこり

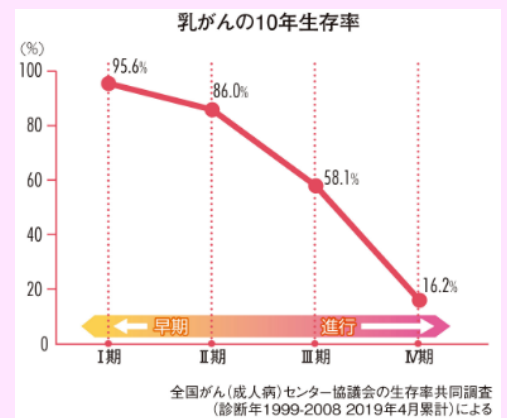
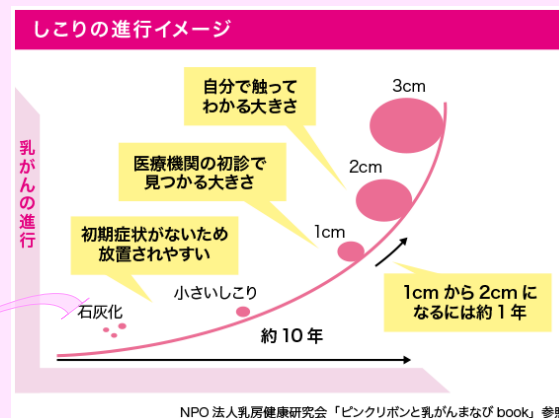


1cmになるまで約10年とゆっくり進行していきます。小さなしこりのうちに発見することが大切です。

乳がんのリスクを高める因子

- ◆ 出産経験がない
- ◆ 授乳経験がない
- ◆ 家族(祖母・母親・姉妹)に乳がんになった人がいる
- ◆ 良性の乳腺疾患になったことがある
- ◆ 初産年齢が高い
- ◆ 身長が高い(平均よりも5cm以上)
- ◆ 閉経後に肥満
- ◆ 初潮年齢が早い(11歳以下)
- ◆ 閉経年齢が遅い(55歳以上)
- ◆ 生まれたときの体重が重い
- ◆ 飲酒量が多い
- ◆ タバコを吸う

出典:科学的根拠に基づく乳がん治療ガイドライン2013年版



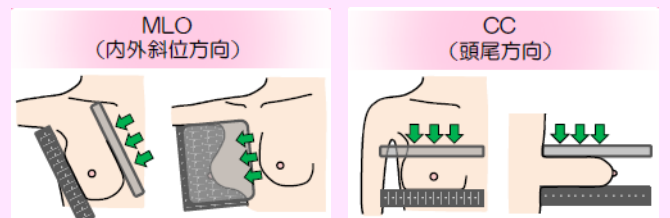
乳がんは早期に発見して治療することにより、乳がんできなくなることを防ぐことができます。検診は自覚症状がないうちに受けることが大事です。

乳がん検診:住民検診(40歳になったら2年に1度、マンモグラフィ(乳房X線検査)を繰り返し受けてください)

マンモグラフィ検査

乳腺・乳房専用のレントゲン撮影で、乳房を挟みながら圧迫して、内外斜位方向(MLO)1枚と40歳代は頭尾方向(CC)から1枚の乳房の撮影をします。触っても判らないような早期の 小さな乳がんは勿論、しこりを作らない乳がんを白い影(腫瘍影)や非常に細かい**石灰砂の影(微細石灰化)**として見つけることができます。

乳房を圧迫して薄く伸ばすことで乳腺が広がり、少ない放射線で、より鮮明な病変が観察できます。また、放射線被ばくによる健康被害はほとんどありません。1回の撮影で乳房が受ける放射線量(0.05~0.15ミリシーベルト)は、一般の人が1年間に受ける自然放射線量(約2.4ミリシーベルト)よりはるかに低いです。



ご案内

2025「さんでーサロン」

秋の音楽会

さん愛プラザ

音楽鑑賞のみの参加もOKです!!

- 日 時:令和7年10月19日(日) 13:00~16:00
 - 場 所:佐賀メディカルセンタービル 1F エントランス
 - 対 象 者:がん患者又はその家族の方 **参加費無料**
 - 申込期限:10月16日(木)
 - 問合せ先:佐賀県がん総合支援センター
- さん愛プラザ ☎0120-246-388

ご案内

令和7年度 量子医療推進講演会 『量子が創る未来』

今年の講演では、BNCTによるがん治療や計測・センサシステムなど、量子科学技術がもたらす未来を紹介していただきます。

- 日 時:2025年10月4日(土) 13:30~16:30
- 場 所:サンメッセ鳥栖(大ホール)
- 定 員:300名
- 参 加 費:無料(会場席は事前申し込み先着順)

プログラム

開 場 13:00~
主催者挨拶 13:30~13:35
来賓挨拶 13:35~13:45
講 演 13:50~16:10

【講演1】「BNCTによるがん治療の革新」 玉野井冬彦 先生

【講演2】「電波エネルギーハーベストによるバッテリーレスセンサシステムの開発」 金谷晴一先生

総合討論 16:10~16:30
閉 会 16:30

入場無料
要事前申込

- 問合せ先:国立研究開発法人 産業技術総合研究所九州センター
TEL:070-4736-5139 FAX:0942-81-4089
E-mail: tosu4-ml@aist.go.jp 担当:坂本

会場とオンラインのハイブリッド型開催
オンライン聴講(YouTube配信)も可
申込締切 10月3日(金)



申し込みフォーム

※詳しくは裏面のチラシをご覧ください。

10/19
(日)

日曜日に「乳がん検診」が受けられます

受けてみませんか 乳がん検診 -あなたとあなたを愛する人たちのために-

J.M.S(ジャパン・マンモグラフィ・サンデー)は子育て・介護・仕事・家事などで忙しく、平日に検診を受けに行きにくい女性の皆様が、休日の日曜日に「乳がん検診」を受けられるよう、全国の医療機関と認定NPO法人J.POSHが協力して毎年10月第3日曜日に乳がん検診マンモグラフィ検査を受診できる環境づくりの取り組みで、2025年は10月19日(日)に行われます。

今まで乳がん検診に行ったことがない方、最近忙しくて行っていない方等、日曜日に受診出来るこの機会に「乳がん検診」を受けてみませんか。乳がんは早期発見・早期治療すれば「ほとんどが治るがん」です。

佐賀県の「J.M.Sプログラム2025賛同医療機関」は下記の1ヶ所です。
予約や空き状況等は、直接医療機関にご確認うえ受診をお願いします。

※J.M.Sプログラム参加施設はホームページ又は右の二次元コードにてご確認ください。

※詳しくは裏面のチラシをご覧ください。



J.M.Sサイト

施設名	お問合せ	実施時間	備考
鳥栖市:医療法人清明会 やよいがおか鹿毛病院	0942-87-3155	9:00~12:30	女性技師 女性スタッフ対応

《さがんだより新聞の問合せ先》

佐賀県 健康福祉政策課 がん撲滅特別対策室 担当 本田
TEL:0952-25-7491 FAX:0952-25-7206
E-mail: kenkoufukushiseisaku@pref.saga.lg.jp



さんでー サロン

佐賀県がん総合支援センターさん愛プラザでは、毎月第3日曜日に「さんでーサロン」を開催しています。病気のことで共感できる仲間と一緒に話されたり、ゆっくり時間をお過ごしください。お好きな時間にお気軽にご参加ください。



2025.10.19 SUN

♪場所 佐賀メディカルセンタービル1階エントランス
交流会 さん愛プラザ

〒840-0054 佐賀市水ヶ江1丁目12-10

♪対象者 がん患者又はその家族の方

♪定員 20名程度

♪参加料 無料

♪申込方法 TEL 0120-246-388
※10月16日(木)



佐賀県がん総合支援センターさん愛プラザ
〒840-0054 佐賀市水ヶ江1丁目12-10
(佐賀メディカルセンタービル1F)
☎「がんの悩み相談ダイヤル」
おひとり様お一人様、お気軽にご相談ください。
がん患者・家族つどいの会についても、こちらで受け付けいたします。
(フリーダイヤル) **0120-246-388**
※相談日：月～金曜日(祝・年末年始・土日祝) 受付時間：9時～13時、14時～16時

令和7年度 量子医療推進講演会

『量子が創る未来』

日本の新国家戦略「量子未来社会ビジョン」では、量子科学技術を駆使することによって実現される「経済・環境・社会が調和した未来の社会」が描かれています。今年の講演では、BNCTによるがん治療や計測・センサシステムなど、量子科学技術がもたらす未来を紹介していただきます。

【主催】(一財)量子医療推進機構

URL: <https://www.quantum-medicine-foundation.com>

【共催】国立研究開発法人産業技術総合研究所九州センター

【後援】佐賀県、鳥栖市、佐賀新聞社、サガテレビ、久光製薬株式会社、株式会社佐賀銀行、松尾建設株式会社、鳥栖商工会議所、鳥栖三善基医師会、NPO法人小児がん・まごころ機構、公益財団法人佐賀国際重粒子線がん治療財団、一般社団法人日本量子医科学会、佐賀県立九州シンクロtron光研究センター



会場とオンラインのハイブリッド型開催
オンライン聴講(YouTube配信)も可

申込締切 10月3日

参加
無料

プログラム

13:00 開場

13:30-13:35 主催者挨拶
量子医療推進機構 理事長 坂井 浩毅

13:35-13:45 来賓挨拶

佐賀県
鳥栖市

13:50-16:10 講演

13:50-14:55 (座長：坂本 満 (量子医療推進機構 理事))

【講演1】

「BNCTによるがん治療の革新」

講師 玉野井 冬彦 氏
京都大学 高等研究院
物質・細胞統合システム拠点 特任教授
量子ナノ医療研究センター リーダー
カリフォルニア大学ロサンゼルス校 教授



(休憩)

15:05-16:10 (座長：中川 源 章 (量子医療推進機構 理事))

【講演2】

「電波エネルギーハーベストによる
バッテリーレスセンサシステムの開発」

講師 金谷 晴一 氏
九州大学 システム情報科学研究院 教授
価値創造型半導体人材育成センター長



16:10-16:30 総合討論

(座長：中川 源 章 (量子医療推進機構 理事))

16:30 閉会

日時

令和7年

10月4日(土) 13:30~16:30

場所

サンメッセ鳥栖
大ホール

佐賀県鳥栖市本鳥栖町1819番地
電話 0942-84-2121 <https://www.city.tosu.lg.jp/1677.htm>

感染症対策協力へのお願い

1. 会場席定員は300名とさせていただきます
2. 会場席は事前申し込み先着順です
3. 感染症の状況によりマスク着用をお願いすることがあります
4. 入場前に手指の消毒をお願いします

申込み・問合せ先

国立研究開発法人
産業技術総合研究所九州センター
TEL: 070-4736-5139 FAX: 0942-81-4089
e-mail: tosu4-ml@aist.go.jp 担当：坂本

裏面の参加申込書をFAX、
または必要事項をメールにてお送りください

多忙な平日をお過ごし
の女性の皆様へ

2025年

10月19日

日曜日に乳がん検査を受けられる日です

JMSは「10月第3日曜日に全国どこへでも乳がん検診ができる環境づくり」への取り組みです。多忙な平日を過ごす女性が、乳がん検診を受診できる機会をつくりたい!!と認定NPO法人J.POSHが呼びかけ全国の賛同医療機関で実施しています。

乳がんってどんな病気?

女性がかかる「がん」の第1位です

乳がんは、乳房内の乳管(母乳を運ぶ管)や小葉(母乳を作るところ)に発生する悪性腫瘍です。30代後半から急増し、40代後半と60代後半～70代前半でピークとなっています。若い女性にとっても、乳がんは決して他人事ではありません。

いまや日本人女性の
9人に1人が生涯に乳がんになる
と言われてます ※2021年データを元にした累計罹患リスク

でも早期発見・早期治療で生存率が高まります

早期乳がんは腫瘍径が2cm以下で、リンパ節や他の臓器に転移がない状態で90%以上の治癒が期待できます。

知ってる? ブレスト・アウェアネス

乳房を意識する生活習慣のことです

1 自分の乳房の状態を知る

3 変化に気がついたらすぐ医師に相談する

2 乳房の変化に気をつける

4 40才になったら、2年に1度は検診を受ける

ご自身の乳房の
状態を知るためには
乳房セルフチェック
をしましょう!

ポイント1

見て「くぼみ・ふくらみ」「ただれ・変色」「ひきつれ」
はありませんか?

鏡の前立ち姿の
後ろで手を組み、
肩や脇をよく見て
下さい。



ポイント2

さわって「しこり」は
ありませんか?

4本指の「の」の字を書くように、
指先で軽く
なでるように
しこりの有無を
調べてください。



ポイント3

つまんで「血が混じった
ような分泌物」は
出ませんか?

乳管の開口部を
軽くつまんで、
分泌液が出るか
調べてください。



ポイント4

横になって「しこり」は
ありませんか?

仰向けに寝て、肩の下に低めの枕を
入れてタオルを入れて、
乳房をさわって、
しこりを調べ
てください。



もし、乳房やワキの下などに異常をみつけたら、すぐに乳癌(外)科で診察を受けてください。

当院はJMS賛同医療機関です



全国の検査施設のご案内はホームページにて

ホームページアドレス <https://jms-pinkribbon.com>

J.POSH

認定NPO法人 J.POSH
(日本乳がんシンクロナイズド運動)
<https://www.jposh.com>



主催者あいさつ

量子の世界を操る「量子科学技術」は、量子コンピューターをはじめ、量子インターネット、量子鍵など、AIと共に第4次産業革命を推進する役割が現実のものとなってきました。

がん治療の分野においても、その活用による新たな医療(=量子医療)の展開に大きな期待が寄せられています。私たち「一般財団法人 量子医療推進機構」は、様々な分野の「知」が融合・結合する場づくりを進め、「量子科学」を身近に、縦横に活用した新しい診断・治療法の研究開発を推進するとともに、希少がん・小児がん・難治性がん等の患者個人に合った最適な診断法・治療法の開発を、世界に先駆けて進めたいと思っています。

皆さんと一緒に、子供たちや家族の夢と希望を膨らませ、地球上の誰もがその恩恵を受けることができる社会の構築を目指しましょう。

一般財団法人 量子医療推進機構 理事長 坂井 浩毅

参加申込書 10月2日申込締切

※会場とオンラインのハイブリッドで開催します。会場参加は定員300名で締め切ります。

会場、オンラインともに、当日の参加申込はできません。必ず10月2日までに申込をお願いします。

オンライン参加希望の方は、申込書にメールアドレスの記入をお願いします。後日招待メールを配信します。

企業名・団体名		フリガナ		
所属	フリガナ	役職	E-mail	☐ 会場参加
氏名		電話		☐ Web参加
所属	フリガナ	役職	E-mail	☐ 会場参加
氏名		電話		☐ Web参加
所属	フリガナ	役職	E-mail	☐ 会場参加
氏名		電話		☐ Web参加
備考 質問などをご記入ください				

【申込先】産総研九州センター 担当：坂本 宛

FAX 0942-81-4089

E-mail tosu4-ml@aist.go.jp



こちらの二次元
バーコードから
もお申し込み
いただけます

参加申込書をFAX、または必要事項をメールにてお送りください。

※本申込書にご記入いただきました情報については、個人情報保護法のもと適切に管理いたします。本内容以外への転用はございません。

